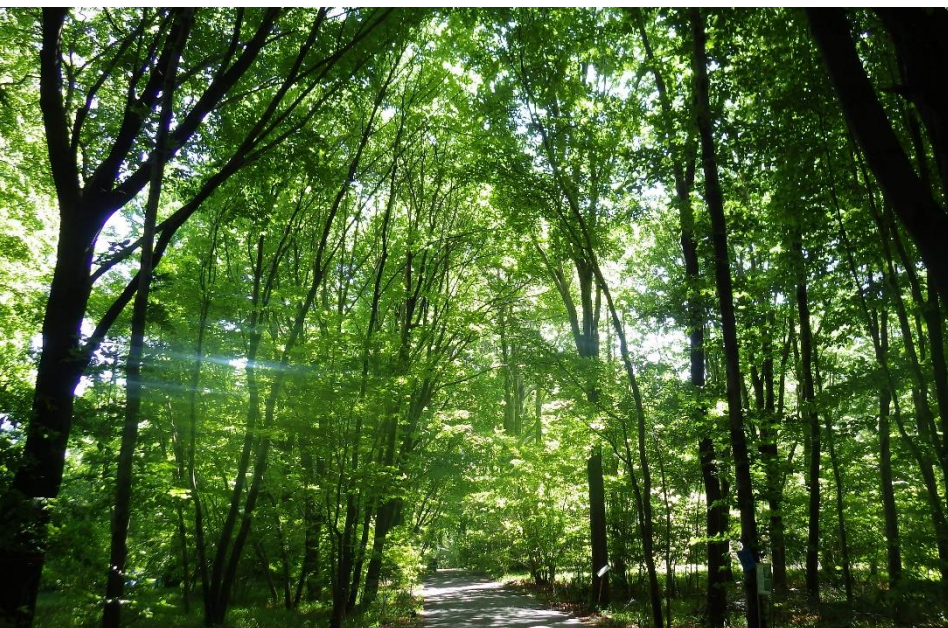




1位 クレマチス各種



2位 ユッカとヘスペロユッカ、ヤマボウシ



3位 森林区



トピックス クレマチスとテッセン

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

みごろの植物

第1032号 2025年5月10日 次号予定5/16

今週のベスト3！

青い札が目印です

1位 クレマチス各種 色も形も名前も素敵な花の競演がクレマチス園で見られます。ベル型や大輪系、新しい品種も展示しています。

2位 ユッカとヘスペロユッカの花序が大きなソフトクリームのように。中央広場で**ヤマボウシ**の白い苞が目立っています。

3位 森林区 瑞々しい新緑の空気をおもいきり吸い込んで深呼吸！園路を歩いているだけでも、とても気持ちのよい季節です。森林浴にぴったりです！



じゅもーく先生トピックス

★1位 クレマチスとテッセン *Clematis* spp. キンボウゲ科

5月後半、クレマチス園ではテッセン（鉄線）が咲きはじめます。「えっ、テッセンならば4月下旬から色々な種類が咲いているでしょ？」と思われた方もいるかもしれません。かつてはクレマチス全体がテッセンと呼ばれていましたが、現在では分類学的見地から、キンボウゲ科センニンソウ属（*Clematis*）植物全体をクレマチス（野生種と園芸品種を合わせて約3000種類）、そのなかでも *Clematis florida* という種をテッセンと呼びます。すなわちテッセンは、クレマチスの一種であり、その他のクレマチスをテッセンとは呼びません。

筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 村井良徳

オキナグサのふわふわした毛がおじいさんの髭のよう！



① アメリカシャクナゲ（カルミア）つぼみは星形でかわいらしいです。

② ハクウンボク 木漏れ日で透ける緑に白い花が輝いてとてもきれいです。

③ トチノキ 円錐形に立ち上がったつぼみが開き始めました！

④ 野菜の花いろいろ 九条ネギの大きな花やアブラナ科の花も元気いっぱいに咲いています。

⑤ サラセニア・レウコフィラ 実は食虫植物です。あざやかで美しい色は虫のおかげ？

⑥ キエビネ[EN]、クリシマエビネ[EN]など、エビネ各種が開花中。

⑦ ツクシムレスズメ[CR] 花も名前もかわいいですね！満開になるとスズメが群れているようにみえるのが楽しみです。

⑧ ハンゲショウ さわやかな葉が勢いをみせています。

⑨ ヤナギトラノオ 水辺で黄色い花が見え隠れしています。

⑩ ヒトツバタゴ[VU] 別名ナンジャモンジャノキ。繊細な白い花が幻想的です。

⑪ サンショウバラ[VU] 大きな木になるバラ。淡いピンク色の花が咲いています。

⑫ サラサドウダン 鐘型で薄紅色がアクセントのかわいい花がたくさん咲いています。

クレマチス園公開

2025 4/26〔土〕－6/8〔日〕



アンケートにご協力ください。ご回答いただいた方に、スマホ用壁紙プレゼント！

- A サバンナ温室
- B 熱帯雨林温室
- C 水生植物温室
- D 熱帯資源植物温室
多目的温室（閉鎖中）
絶滅危惧植物温室



見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。筑波実験植物園では、科の表示を「新エングラー体系」から「APG体系」へ変更しています。筑波実験植物園ホームページ <https://www.tbg.kahaku.go.jp/>



1位 絶滅危惧植物温室



2位 デンドロビウム各種



3位 マンフレダ・バエリエガタ



トピックス カンアオイ

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

温室のみごろ植物

第1032号 2025年5月10日 次号予定5/16

今週のベスト3！

黄色い札が目印です

1位 絶滅危惧植物温室 カンアオイ各種を展示中！形、色が様々で奇妙奇天烈、個性的な姿です！

※この地図のウラ面に**温室1位**の場所を表示しています。

2位 デンドロビウム各種 美しい蘭に魅了されます。匂いも感じてみてください。

3位 マンフレダ・バリエガタ 暗紫色の風変わりな花を咲かせています。長いおしべの先端に黄色い花粉がたくさんついています。

じゅもーく先生トピックス

1位 あえて「臭く」進化した花たちのニオイを生み出す仕組みを解明
-虫を呼ぶために複数の植物で収斂進化していた！-

筑波実験植物園は、国立遺伝学研究所、昭和医科大学、東京大学、長野県環境保全研究所、宮崎大学、東北大学、ライフサイエンス統合データベースセンター、龍谷大学、慶應義塾大学との共同研究によって、腐った肉のような臭いにおいて昆虫をだまして花粉を運ばせる（腐肉擬態）花が、臭いにおいの成分「ジメチルジスルフィド」を生み出すメカニズムを解明し、またその機能を獲得する進化がわずかなアミノ酸置換でもたらされることを実験的に示すことに成功しました。さらにそのメカニズムを担う酵素がカンアオイ属、ヒサカキ属、ザゼンソウ属という全く異なる植物で独立に進化、獲得されていることを発見しました。これは、花による腐肉擬態というユニークな現象が、どのような成り立ちで進化しうのかを明快に説明できた類い稀な成果と言えます。

本研究成果は、“Convergent acquisition of disulfide-forming enzymes in malodorous flowers.”という表題の論文として2025年5月8日刊行のScience誌に掲載（発表）されました。

筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 奥山 雄大

見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。



- ① アデニア・グラウカ 葉と花の付け根から伸びた渦巻き状のつるが面白いです。
- ② ココヤシ 緑色の果実が実っています。(園路からごらんください)
- ③ ミッキーマウスプラント なんだか気になる名前の植物。由来はやっぱりのあの人気者らしいですよ。
- ④ ショクダイオオコンニャク 葉がぐんぐん育っています。
- ⑤ ファレノプシス・アマビリス 階段近くで真っ白いランが下がっています。
- ⑥ ハマボッサ 白く清々しい花を咲かせています。